

令和6年度第2回岸和田市介護保険事業運営等協議会会議録  
第2回岸和田市地域包括支援センター運営協議会会議録  
第2回岸和田市地域密着型サービス等運営委員会会議録

<p><b>【案件】</b></p> <p>(1) 上半期介護保険事業の運営状況について</p> <p>(2) 上半期地域包括支援センター運営状況について</p> <p>(3) 令和5年度地域包括支援センター事業評価について</p> <p>(4) 地域密着型サービス事業所等の指定・更新状況について</p> <p>(5) 第9期介護保険事業計画に基づく施設整備の選定結果等について</p> <p>(6) その他</p>	<p><b>【日時・場所】</b></p> <p>令和6年11月22日(金)14:00~16:00 岸和田市役所 新館4階 第1委員会室</p> <p><b>【出席委員】</b> 14名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大谷委員・小出委員・原田委員・森田委員</li><li>・炭谷委員・堺谷委員・山中委員・大浪委員</li><li>・吉田委員・徳久委員・金井委員・山本委員</li><li>・庄禮委員・野本委員</li></ul> <p><b>【事務局】</b> 16名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・山本保健部長・前田介護保険課長</li><li>・蓮井参事(調整)</li><li>・太田地域包括ケア推進担当主幹</li><li>・船津保険料担当主幹</li><li>・市野給付担当長</li><li>・西川地域福祉推進担当主幹</li><li>・金山高齢福祉担当長</li><li>・佐藤広域事業者指導課担当長</li><li>・沖藤(地域包括支援センター社協)</li><li>・藪(地域包括支援センター社協)</li><li>・吉田(地域包括支援センター社協久米田)</li><li>・休場(地域包括支援センター萬寿園葛城の谷)</li><li>・西村(地域包括支援センター萬寿園中部)</li><li>・丸山(地域包括支援センターいなば荘北部)</li><li>・早瀬(地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷)</li></ul> <p><b>【傍聴人】</b> 0名</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務局	<p>定刻が参りましたので、ただいまから、令和6年度第2回岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様には、公私ともご多忙のなかご出席賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>それでは、早速ですが会議に入らせていただきます。</p> <p>本日の協議会の傍聴についてですが、傍聴の方の人数は、0名でございます。</p> <p>続きまして、本日の会議成立の報告でございます。</p> <p>本日の協議会は、全委員16名中、14名のご出席となっております。</p> <p>よって、過半数の委員のご出席でございますので、岸和田市介護保険事業運営等協議会規則第6条の規定によりまして、本協議会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>【 配布資料確認 】</p> <p>ただいまから、本日の案件に入らせていただきますが、この会議は公開となっており、また会議録は後日公表することになります。ご発言の際はマイクを使用させていただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、これより会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>本日の審議内容も多くなっております。皆様のご審議をいただきながら、円滑に会議を進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは案件に入参りたいと思います。</p> <p>案件（1）について、令和6年度上半期介護保険事業の運営状況等について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>【令和6年度上半期介護保険事業の運営状況等について】説明</p>
会長	<p>ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますか。</p>
委員	<p>まず資料2頁、令和3年度・4年度それぞれ積みあがった数字が書かれていますが、第9期介護保険計画の14頁の第7期や第8期の数字とは異なっているのはどうか。</p>
事務局	<p>認定者数については、計画は年度途中（9月月報）までの実績になっております</p>

	ので、イコールにはなってございません。
委員	次に資料の5頁ですけれども、介護保険給付費状況のところですが、令和6年度の計画見込値で178億2,160万円が出ています。 令和6年度計画見込値は、第9期の計画のどこに出ている数字なのか。
事務局	第9期計画97頁の標準給付費見込額を採用しています。
委員	計画や今回の報告で、介護費用、介護給付費、介護保険給付費等同じような言葉が色々出てきますが、わかりやすくできないか。
事務局	介護保険給付費は、公費として執行した1割～3割のご本人負担を除いた金額であり、介護費用はご本人負担を含めた金額となっており、意味は違いますが使い方については、検討させていただきます。
会長	他にございませんか。
委員	資料1頁の出現率が、令和3年度の21%から令和4年度に0.4ポイント、令和5年度に0.6ポイント上がり、令和6年度には1.4ポイントと倍ほど上がっていますが、これは何か理由があるのか。 また、この出現率は2050年位でどれくらい上がるのか。
事務局	出現率については、明確な分析はできていません。 実感としては、計画に記載のとおり申請者が増加している状況です。
会長	ご覧のとおり、岸和田市はこれまで20万人都市と言われていたのが、あっという間に18万人まで減っています。しかも高齢者率が高くなっている。 それに伴って、介護費用が計画値を上回っているという状況です。 基金を少し残していますので、急な給付費の伸びに対応でき、一般財政から繰り入れる必要はない状況であることを、ご理解いただければと思います。  それでは、案件（2）令和6年度上半期地域包括支援センター運営状況について、事務局より説明願います。
事務局	【令和6年度上半期地域包括支援センター運営状況について】説明
会長	ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますか。

<p>委員</p>	<p>3点ほどお聞きします。</p> <p>まず1点目、いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操に包括が参加されている回数が記載されていますが、社協は28ヶ所で22回です。社協久米田は14ヶ所で57回、萬寿園中部も56回ということで、かなりばらつきがありますが、社協においては28ヶ所で22回ということは、1回も行けてない地域もあるのでしょうか。</p> <p>あと、生活支援コーディネーターの報告にも、いき百・かみ百のところに参加とあるが、別々なのか、それともここに含んでいるのか、そこを確認したい。</p> <p>2点目、2頁の相談方法ですが、社協の訪問が4回、久米田が84回と、すごく差があります。これはどういうことなのか、カウントのとり方が違うのかどうかを知りたい。</p> <p>最後に3点目、包括支援センターの人員配置ですが、これについては、萬寿園葛城の谷や中部、特に葛城の谷は直プランが一番多い状況になっています。</p> <p>でも、活動報告を見ると、かなりの活動されていることが読み取れると思います。</p> <p>少ない人数で、これだけの業務をこなされている状況です。これは岸和田市にお伺いしますが、こういう少ない人数で多くの業務を行っているという状況について、どのように考えておられているのかをお伺いしたい。</p> <p>以上3点です。</p>
<p>事務局</p>	<p>相談方法ですが、電話での相談がとても多い状況です。訪問は4件とありますが、実際の対応としてお電話いただいた数と相違ない程度の訪問をさせていただいておりますので、カウント方法を再度見直いたします。</p> <p>あともう1点、いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操への参加回数ですが、上半期中のタイミングで行けなかった地域もあり回数が少なくなっております。</p> <p>生活支援コーディネーターの参加については、10回すべてが単独で行っているわけではなく、包括業務で参加している看護師と共同で参加している場合もございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>葛城の谷はじめ各包括支援センターにおいては、ご尽力いただいているところでです。人員配置については、単に人数を増やせば良いというものではないという事や、現状の職員配置について課題があるとも認識してございます。今後については、これまでどおり各法人様と協議しながら、業務に支障がでないように配置について協議を重ねていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>地域包括支援センターについては、現状を保険者がしっかり把握して、ぜひ包括に負担のないような取り組みをしていただければと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

会長	他にありませんか。
委員	資料の3頁ですけれども、4、相談の主たる内容で、例えば虐待であれば身体的な虐待というのは一般的にわかりやすいと思いますが、他にも経済的な虐待や、言葉の虐待、性的な虐待等たくさんあると思います。 それを分類して、最近の傾向についてわかれば、私たちが生活している中で、何か気付く事もあるのかなあとと思いますので、もしわかれば教えてください。 あと成年後見については、市民後見人の養成やその他市長申立て等たくさんあると思いますが、ここにある成年後見も分類分けがあれば、教えていただきたい。
事務局	社協の場合であれば、傾向ではありませんが、上半期では怒鳴り声や暴言等精神的虐待や、叩く、物を投げられる等身体的虐待、ネグレクト等の相談がありました。また、その疑いがあるのではないかという相談もあり、全てが虐待認定されているものではありません。
事務局	成年後見制度活用のケースで多いのは市長申立てです。施設入所されている方は社協の日常生活自立支援事業を使われ、そこから今後の生活に備えて金銭管理を踏まえて、成年後見制度に結び付くのが、実感として多いと感じています。
会長	他の委員の方いかがですか。
委員	1つ気になったのが、萬寿園中部さんの地域ケア会議の活動報告で、市へ相談したが、集会所はバリアフリーにはできなかった。しかしそのまま活動を続けていくことになったとの事でした。高齢化率もおそらく高い地域なのに、結局、制度的にできずにそのまま続けているのは、矛盾を感じます。バリアフリー化ができれば、もっとよい活動ができるのではないかと考えられるので、今後、どのように活動していくのか等教えていただきたい。
事務局	地域ケア会議を行う前は、工事してもらえれば解決すると考えていたが、施設の設置目的や施設の管理運営等の問題があり、簡単ではない事を共有できた。その場で地域住民を含めて、意見交換できたことがとても重要な事だと感じた。
事務局	市として活動に反対ではないが、いき百や新たな取組については、これまでどおり既存施設を利用条件に合わせた利用方法でお願いしたいと説明したところです。
委員	ぜひ良い方向に進めるようによろしくお願いします。

会長	<p>施設の運営を自治会が担っている場合や、指定管理者が担っている場合等、色々と管理形態があるので、新たな問題が出てくれば、また解決の道を探ることになると思います。ご指摘いただいた点、ご留意いただければと思います。</p> <p>それでは、次に案件（3）令和5年度地域包括支援センター事業評価について、事務局より説明願います。</p>
事務局	【令和5年度地域包括支援センター事業評価について】説明
会長	ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますか。
委員	Q25、26ですが、評価基準を満たしていないということは、地域包括支援センターの人員が少ないということになるのか。今後、増やしていく予定はあるのか。これまでも、この協議会の委員から6圏域で包括を置くのではなく、もっと増やして欲しいという要望もあったかと思うが、今後もこの状態でいくのかどうか。教えていただきたい。
事務局	包括支援センターの人員体制等については、引き続き協議を重ねてまいりたいと思います。
委員	介護の現場は人材不足で、本当に人が集まらない状況です。大阪府内でも、地域包括支援センターの求人はよく目にします。ただ、人が集まらないのが現状です。しかし、これだけ高齢化率も高くなり、相談件数も増えている状況ですので、もう少し地域包括支援センターに対して手厚く支援をしていただくと有難いと思います。
会長	<p>他の委員の方いかがでしょうか。</p> <p>それでは、次に案件（4）地域密着型サービス事業所等の指定状況について事務局より説明願います。</p>
事務局	【地域密着型サービス事業所等の指定状況について】説明
会長	ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますか。
委員	まず、地域密着型通所介護が新しく1件追加で3件減ということでした。資料1の5頁、2つ目の表の居宅サービス事業所数が、令和3年4月が98、令和4年が99、その後ずっと減っていますが、その理由はわかりますか。

	<p>小さな事業所が特に減っているように感じられますが、何かわかる事があれば教えてください。</p>
事務局	<p>現在、把握している状況になりますが、廃止の理由で多く見受けられるのが、利用者の減少によるものです。</p>
委員	<p>利用者が減少すると、小さな事業所は事業の継続が困難になると考えられます。報酬単価についても、現場の声と方向性が違う部分があれば、岸和田市としても、国に対して機会があれば声を上げていただきたいと思います。</p>
委員	<p>6頁の介護予防支援事業所について、包括以外の事業所の直プランですが、今後、市として増やしていく方向なのかどうかをお聞きしたい。</p> <p>先日、泉州地域のブロック会議で聞いてみましたが、やはりどの市町村も予防支援事業所の数が増えていないという現状です。</p> <p>方針については、市によって違うみたいですので、岸和田市の方向性について聞かせてください。</p>
事務局	<p>制度の周知は必要だと思いますが、各事業所で考え方や事情がありますので、市全体でまとめてこうする、という事は考えていません。</p>
会長	<p>増えていますか？</p>
事務局	<p>現状、市には相談等はございません。</p>
委員	<p>例えば、新たに手続きをするのは大変なので、次の更新の時に、周知や働きかけをして指定事業所を増やせば、包括支援センターの直プランも数も減って、負担軽減につながっていくのではないかと思います。</p>
会長	<p>貴重なご意見賜りました。また参考に対応いただければと思います。</p> <p>それでは、案件（5）第9期介護保険事業計画に基づく施設整備について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>【第9期介護保険事業計画に基づく施設整備について】説明</p>
会長	<p>看多機については、応募が無いという状況。また、特定入居者生活介護の方が、1法人60床を選定したけれども、まだ目標である100床には満たない為、来年度に再び公募したいという事務局のご意向でございます。</p>

	<p>これについて何かご意見、ご質問等ありますか。</p> <p>よろしいですか。(意見等なし)</p> <p>それでは、選定結果については了承いたします。選定結果の通知に加え、来年度も合わせて募集をするというところになりますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>それでは、次にその他案件について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>【「地域包括支援センターにおける柔軟な職員配置」について】説明</p>
会長	<p>地域包括支援センターの職員配置について改正されたというところですか。</p> <p>ただし、安易に適応するのではなく、まずはこの協議会において柔軟化の導入について検討していただきたい、また、適用した際は、事後になるが本協議会にご報告をいただくという手順を進めたいという内容です。</p> <p>これについてご質問等あれば伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>地域包括支援センターの主任ケアマネになる方が居ないという事をよく聞くので、制度導入は、本当に仕方がないと思っています。各包括と岸和田市とで話し合い、慎重に進めていただきたいと思います。</p>
会長	<p>介護の現場は、本当に人手不足で、人材を確保するのに苦慮しているという状況があります。</p> <p>また、先ほど委員からもやむを得ないのではないかとご意見いただきましたので、本協議会としては必要性を認めることとし導入について了承し、適用した際は報告いただくという事でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>法改正については知っていたのですが、質問です。例えば、欠員となっている保健師の代わりとなる非常勤職員は、「保健師その他これに準ずる者」でも常勤換算の対象となるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現状、保健師その他これに準ずる者として認められているので、常勤換算される非常勤職員についても同じと考えています。</p>
会長	<p>それでは、事務局より提案のあった内容については、提案どおり承認します。全体を振り返って、少し皆さんのご意見を賜ればと思いますがいかがでしょう。</p>

委員	資料4の6頁で、介護予防支援事業所について、昨年度に新規指定の意見聴取についての方法について議論したところですが、基本的に欠格事由等に該当しなければ意見無しとする事となりました。今回の報告で、いくつか新規指定を受けた事業所がありましたけれど、その経過を経た事業所ということで理解したら良いのでしょうか。
事務局	今回は、昨年度「欠格事由に該当していない事業所は、予め意見無し」で承認いただいていますので、その報告となります。
会長	<p>他にございませんか。</p> <p>私の方から提案ですけれども、いきいき百歳体操に取り組んでいただいて大変ご苦労いただいていると思いますが、何回行って、それが結果としてどう結びついているのかが重要だと思います。</p> <p>今回の報告でもあるように介護の認定率は上昇を続けています。</p> <p>皆さん頑張って取り組んでいただいているのですが、その結果をアウトカムで、示していただきたい。小学校区ごとに認定率は出るわけですから、チェックをしていただいて、体操を同じ人が繰り返し行うだけであれば、認定率は上がりますよね。</p> <p>新しい人がどれくらい参加して、認定率が下がってきた等、アウトカムによる評価を導入していかないといけないのではないのでしょうか。</p> <p>また、認知症サポーター養成講座がありますが、その受講生たちは地域でどう活動しサポートしているのか等、評価に反映されていないと感じています。</p> <p>少し評価のあり方を検討していただきたいと思います。</p> <p>会長としては、これは、できる・できないは当然あると思いますが、そういう評価が効果的に政策を立てていく1つのポイントになるのだろうなと思います。そういった評価を行ったうえで、事業を展開するという報告をしていただければと思うところでもあります。</p>
委員	<p>先日、女性会議で研修会を開催した際に、ヘルパーさんから現状と課題を聞きました。やはり人材不足で介護保険制度が始まった当時の半分程度のヘルパーの数だということと、報酬が全然変わっていないとの事でした。</p> <p>今年度、報酬単価も下げられました。また、昔は、隙間時間にヘルパーの仕事をするパートの方も居ましたが、最近は最低賃金が上がっていますので、他のアルバイトへ取られてしまって人が集まらない。</p> <p>それと、有料老人ホームやサ高住が増えた為に、施設にヘルパーが行きます。在宅のヘルパーは移動が必要です。移動時間は反映されないということで、かなり負担が大きい。しかし、そこは評価されていません。</p>

	<p>また、これは岸和田市だけではなく、全国的な問題だと思いますが、駐車場の問題について提議されました。昔の団地は、ヘルパー用に駐車場を確保していただいていたのですが、今は有料になっています。駐車場料金が本人負担になるため、高いのでサービスは要りませんと言われることがあるとの事でした。岸和田市に限っての話ではないですが、どこかで問題提起していただきたいですし、岸和田市としても、何かいい方法があれば、考えていただけたらと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>枯渇している状況報告と対策についてのご要望でした。 他に何かありますか。 無いようですので、以上をもちまして本日の案件は全て終了しました。 本日は、これをもちまして終了とさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は、ご多用のところご出席いただき、誠にありがとうございました。 今年度の運営協議会は、急な案件が生じない限り、今回で終了となります。 来年度についても、今年度同様、年2回開会の予定をしております。 予定では7月、11月に開会したいと考えております。 委員の皆様におかれましては、ご多用とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。 それでは、以上を持ちまして、令和6年度第2回岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会を終了させていただきます。</p>